

# 多国籍ネットを強化

AMDA活動報告

## 救える命があれば

いっしょに

□20□

菅波 茂

AMDA多国籍医師団は、インドネシア・ジャワ島中部のシヨグジャカルタで地震が発生した翌五月二十八日から、ソロ市の国立整形外科病院で緊急手術・治療・ICUでの重症患者ケアを、シヨグジャカルタ郊外では巡回診療を実施した。

二日後、ロシアのモスクワ小児緊急外科・外傷医療研究所長、レオニード・ミハイロビッチ・ロシヤリ医師との出

## ロシア医師との出会い

会いは一九九五年の「95アジア太平洋緊急救援フォーラム」に彼を招待したことがあった。十五カ国のNGO十六団体代表と駐日大使、国連、日本政府、自治体関係者らが参加。会期中、緊急事態準備態勢と支援活動に備えた人的、物的、経済的資源の調達、調整するための手段として、APPRO機構(Asiatic Pacific Rescuer Organization Forum)が設立された。

彼は十年前の阪神大震災の時、ロシア医療チームを率いてAMDAと同じ長田区の救援医療活動に来ていた。十年後の復興した神戸の視察が目的だった。「あのビルが崩壊していた。あの街が燃えていた」などの指摘に間違いはなかった。

驚いたのは、一九九五年五月のサハリン大地震や二〇〇四年十二月のスマトラ島沖大地震・津波マトラ島沖大地震・津波の救援活動にも参加していたことだった。彼の医療チームとAMDA医療

チームは、同じ場所でお互いが知らないまま救援活動をしていた。

なお、〇二年十月の子エチエン人武装勢力によるモスクワ劇場占拠事件で、ロシヤリ医師は双方に人望のある仲介人として、人質の子どもたちの解放に尽力した。彼の人的行為は雑誌「リーダーズダイジェスト」に「ヨーロッパの良心」として紹介されている。

## ユーラシアが次の目標

AMDAがロシアや北朝鮮、中国で実施した主な救援活動に、サハリン大地震救援活動(一九九五年)、中国・雲南省大地震救援活動(九六年)、北朝鮮大洪水救援活動(九八年)、ロシア連邦・サハ共和国大洪水救援活動(九八年)などがある。サハ共和国では日本人医師二人を派遣し、同

チームは、同じ場所でお互いが知らないまま救援活動をしていた。

なお、〇二年十月の子エチエン人武装勢力によるモスクワ劇場占拠事件で、ロシヤリ医師は双方に人望のある仲介人として、人質の子どもたちの解放に尽力した。彼の人的行為は雑誌「リーダーズダイジェスト」に「ヨーロッパの良心」として紹介されている。

を要望し、大統領から前向きな返答を得た。

設立場所はウランバートル市郊外にある二百四十一年前に建設された蒙古で最古のダムバダルジャン寺院境内だ。AMDA多国籍医師団ネットワーク強化が目的だった。最大の補助線はロシヤリ医師率いるロシア医療チームとの連携である。



国からの研修医を日本で受け入れた医療技術協力プロジェクト(九六年)なども実施している。

今年八月十二日、モンゴル首都ウランバートルの大統領官邸内にある

パオで、ナンバリン・エノンフバル大統領と会った。AMDAモンゴル支部の設立、モンゴル国立大学との協定、災害医療センターを想定したAMDAピースセンター設立

この連載は毎月第四日曜日に掲載します。